



溺水防止に向けた取組み強化

溺水防止に向けた取組みを強化に関する国連決議が採択されました。

妊娠中の駆虫は新生児の生存と健康のために

駆虫薬治療を受けた母親は、新生児死亡のリスクを 14%減らすことができます。

モデルナ社製ワクチンを緊急使用リストに追加

狂犬病経口ワクチン：狂犬病対策の新戦略

WHO と OIE は、経口狂犬病ワクチンの効果的かつ安全な使用を支持しています。

ユニセフと WHO：水、衛生、トイレの普及に関する報告書

30 億人の人々が水と石けんを使った手洗い設備を持たず、22 億人が安全な水を利用できないと推定されています。

ワクチン接種にジェンダー平等を

国連女性の地位委員会は、COVID-19 におけるジェンダー平等を訴えました。

女性と新生児に質の高いケアを

中低所得国では、毎年 570 万人から 840 万人が質の良くない医療が原因で死亡していると推定されます。

認知症に関する討論の場を新しく開設

相互学習と知識の交換を促進するため、オンライン上に討論の場を開設しました。

世界で 90 万人の助産師が不足

2035 年までに助産師に十分な投資をすれば、死産の約 3 分の 2 を回避でき、年間 430 万人の命を救えます。

塩分摂取量削減のための調査報告

60 以上の食品カテゴリーにおけるナトリウムレベルの新基準を発表しました。

手指消毒など感染対策の強化を

高低所得国の間にある、手指衛生やその他の感染予防・管理手段の格差を解消することが緊急に必要な要素であるとししました。

COVID-19 パンデミック時の結核サービスの継続性確保

結核と COVID-19 の両者への取り組みを支援する情報ノートを作成しました。

ベルリンにパンデミック情報収集拠点を設立

感染症の情報、データ、監視、分析のためのグローバルハブを設立します。

中国シノファーム製ワクチンを緊急使用リストに追加

WHO と ICMRA：製薬業界にデータ提供の透明性と完全性を求める

すべての新薬とワクチンについて、承認あるいは不承認の場合でも、臨床データを広く公開することを求める声明を出しました。

「健康都市」18 カ所でワクチン接種を支援

ハイリスク集団に重点を置いたワクチン配布を支援する助成金を発表しました。

世界の児童栄養：発育不良と太りすぎ

子どもの発育阻害、過体重、低体重、消耗症、重度消耗症の推定値の 2021 年版を発表しました。

健康の経済学に関する新しい WHO 評議会発足

評議会の最初のメンバーとし、世界中から 11 人の第一人者を招集しています。

WHO 独立委員会：パンデミック対策にシステムの本質的な改革を

ワクチンの再分配、資金調達、等を各国で緊急かつ一貫して実行するなど、一連の大胆な提言を直ちに実施し、パンデミックを終わらせるよう呼びかけました。

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう 標題及び冒頭部分を仮訳しているものなので、詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



気候変動を考慮した医療システムの構築へ

将来に向けて健康や気候変動の影響を考慮した保健システムを構築する機会があり、国家適応計画（NAP）は、これを実現するための基盤です。

長時間労働と心臓病や脳卒中のリスク

長時間労働が原因で、2016年には脳卒中や虚血性心疾患による死亡者数が745,000人となりました。

思春期のメンタルヘルスのための新しいツール

WHO とユニセフは「思春期の子供の成長を助けるツールキット」を発表しました。

島嶼国の気候変動と健康の課題と進捗

ダイナミックデータ・ダッシュボードは、気候変動による健康上の脅威に対する島嶼国の進捗状況を示しています。

遺伝子組み換え蚊に関するガイダンス

倫理性、安全性、価格、有効性に関する基準を定めたガイダンスを公表しました。

2021 年 SDG3 GAP 進捗報告書

WHO など 13 の国際機関は第 2 回進捗報告書を発表しました。

人獣共通感染症の国際専門家パネル発足

「One Health High-Level Expert Panel」が発足しました。

HIV、ウイルス性肝炎および性感染症報告書 2021 年

戦略の効果、進捗状況、目標との乖離を評価し、戦略的效果を向上させるための行動を明らかにしています。

G20 によるローマ宣言、世界保健サミット開催

パンデミックを克服する議題を採択し、ローマの原則宣言を策定、承認しました。

母乳代用品国際規約の 40 周年記念声明：WHO / UNICEF

各国政府、保健従事者、ベビーフード業界に対し、規約の要求事項を完全に実施し遵守することを呼びかけています。

世界保健統計報告 2021 年版

COVID-19 の超過死亡を推計

WHO とスイス：病原体の保管、研究の BioHub を開設

バイオハブ施設を立ち上げるための覚書に署名しました。

WHO マイクロソフトなどと「世界保健データ・ハブ」開発

Avanade と Microsoft は、World Health Data Hub を開発しました。

パンデミックインフルエンザ事前対策枠組み (PIP) 発足 10 年

WHO 加盟国がパンデミックインフルエンザ事前対策枠組み（PIP）について合意に達してから 10 年になります

第 74 回世界保健総会における独立委員会の声明

健康危機プログラム独立監視・諮問委員会の委員長からパンデミックへの準備と対応に関する声明が発表されました。

出産後すぐに始めるカンガルー・マザー・ケア (KMC) の利点

早産児や低出生体重児が生まれたらすぐに KMC を開始することで、生存率が劇的に向上することがわかりました。

5 月の WHO ファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。
<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- ・溺死、・転倒、・喘息、・トラコーマ、・ハンセン病、・狂犬病、・高血圧、・リーシュマニア症、
- ・毒蛇咬傷、・エキノコックス症、・リンパ系フィラリア症、・デング熱及び重症デング熱、・フランベジア、
- ・食物由来の吸虫症（旧；食物媒介吸虫類感染症）、・住血吸虫症、・ブルーリ潰瘍、・アフリカトリパノソーマ症（睡眠病）、・条虫症・囊虫症



第74回世界保健総会

1. 糖尿病、障がい者、マラリア撲滅、口腔ケアに関する決議、2. 医療・介護従事者、患者の安全性、健康・環境・気候変動に関する世界戦略など、3. 医薬品の自国生産化、健康の社会的決定要因への取り組み、など30以上の決議を採択して閉幕しました。

COVID-19 重症化リスクと喫煙
喫煙者は、重篤化や死亡のリスクが40～50%高いと言われています。

UHC 社会参加ハンドブック
政策立案者が考え、実行しなければならないさまざまな課題を紹介しています。

国際機関がコロナ終息へ500億ドル拠出を呼びかけ

中国シノバック製のワクチンを緊急使用リストに追加

気候変動と健康に関するオンライン学習コース
自立型で双方向的なレッスンです。

高齢化に向けたデジタル支援技術 DATA 立上げ
安価で質の高いデジタル技術や支援技術の開発、統合、普及を進めるために、

DATA を立ち上げました。

WHO : 「国連生態系回復の10年」に加盟

予防接種証明書の仕組み作りへ
予防接種証明書事務局は、ガイダンスを作成することにしました。

ウォーキングとサイクリングのための健康経済評価ツール
経済、健康、大気汚染に関する文献について系統的な評価の結果をまとめています。

必須医薬品などの調達に関する品質保証方針
WHO による調達の原則と要件を定めたものです。

食中毒などを評価するためのハンドブック
毎年、6億件の食中毒が報告されています。

ヘルスケア分野における女性のリーダーシップと政策
世界の医療・介護従事者の70%は女性ですが、指導的立場は25%だけです。

「すべてのひとの健康の経済活動評議会」：公共財に向けたシステムの再設計を
ワクチン、治療薬、診断薬などを公平に

提供するために官民が協力して取り組むことを呼びかけました。

世界の薬剤耐性・使用状況調査システム (GLASS) レポート
各国別の抗菌薬消費量サーベイランスが含まれています。

ポリオ根絶戦略 2022 - 2026 開始

「ポリオ根絶戦略 2022 - 2026」が発表されました。

精神医療の新ガイドライン
推奨する精神医療は、地域社会に根ざしたものであり、日常生活における支援も含まれるべきだ、としています。

COVID-19 ワクチンの安全性・有効性評価と監視について
ワクチンの安全性、有効性、品質を決定する科学的評価と、承認後の安全性の監視について医療者向けに説明しています。

ACT アクセラレータがG7のワクチン提供を歓迎
G7の8億7000万回分のワクチン提供を歓迎しました。

HIV / エイズ政治宣言採択
2030年までのエイズ終息に向けた政治宣言を採択しました。

注) 本サマリーは、WHO発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



One Health 専門家パネル始動

26名の専門家がパネルのメンバーとして任命されました。

鍼灸治療の最新トレーニング基準

個々の診療所や施術者を比較、評価、認定することを目的としています。

推拿（中国手技治療技術）のトレーニング基準

推拿術者のカテゴリーごとに必要な学習課程を設定し、レベルの違いを減らします。

若者と COVID-19:

若者の COVID-19 に対する行動促進のために、考慮すべき点をまとめています。

電子機器廃棄物 (e-waste) と健康への脅威 (報告書)

1,290 万人もの女性と 1,800 万人以上の子どもと青少年が非公認の廃棄物処理部門で働いています。

帝王切開による出産増加に懸念

不必要な外科手術は、女性にとっても赤ちゃんにとっても有害です。

100 人の死亡のうち 1 人は自死

依然として世界の主要な死因の一つです。

結核、HIV 結核など高負担国リストを更新

WHO は、結核、HIV 結核、多剤耐性結核の高負担国のリストを更新しました。

南アフリカにワクチン技術移転ハブ設立へ

南アフリカで、mRNA ワクチン技術移転の拠点を設立します。

ヨガアプリ「mYoga」発表

ユネスコと WHO : すべての学校を健康促進の場に

学齢期の子どもと青少年の健康と福祉を向上させるためのパッケージを発表しました。

WHO : パンデミックの対応強化で WIPO , WTO と三者協力

パンデミックや公衆衛生、知的財産、貿易が交錯する差し迫った世界的課題に取り組むため、協力強化に合意しました。

第 1 回 WHO 医療製品の現地生産フォーラム

中低所得国での現地生産に向け、技術移転などの課題とその解決に必要なステップと可能性について議論が行われました。

健康セルフケアのガイドライン

健康のためのセルフケアの実施に関する

WHO 統合ガイドラインを発表しました。

家族計画のためのデジタル解説キット

ガイドラインの開発、普及と応用などを実施する加盟国のためのツールです。

学校における保健活動

WHO などは、「すべての学校を健康促進の場に (SHS)」運動を開始しました。

小島嶼開発途上国に対する WHO の役割 (報告書)

2019—20 年の保健分野の情報と WHO の役割を紹介しています。

保健領域における人口知能 (AI) 倫理とガバナンス

保健領域における AI の倫理とガバナンスに関するガイダンスを発表しました。

女性は健康問題と経済的、ジェンダー不平等に直面

女性の健康とジェンダー平等を推進するための成功例や証拠に基づく戦略を分析し、新たな脅威についても考察しています。

B 型 C 型ウイルス肝炎撲滅の WHO ガイダンス

新しいガイダンスが発表されました。

6 月の WHO ファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。

<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

- ・リーシュマニア症、
- ・自閉症スペクトラム障がい、
- ・乳幼児の食事、
- ・栄養不良、
- ・肥満と過体重、
- ・心血管疾患、
- ・高齢者の虐待、
- ・自殺、
- ・道路交通傷害、
- ・慢性閉塞性肺疾患(COPD)



結核菌複合体の変異と薬剤耐性のカタログ

17,000 以上の変異、その頻度、耐性との関連性の有無が記載されています。

中国、WHO からマラリア清浄国の認証取得

70 年の歳月をかけて WHO からマラリア清浄国の認証を受けました。

発展途上国向けワクチン・治療薬・診断薬に関する共同声明

G20 諸国に緊急の行動を呼びかけました。

WHO とグローバルファンドが協力協定 – 医療システムの強化に向け –

10 の戦略的イニシアティブを実施するための協力・融資協定に署名しました。

WHO：心血管疾患と糖尿病の優先医療機器リスト

500 以上の機器と、心停止、脳卒中、低・高血糖などの緊急事態に必要な機器が含まれています。

4 人に一人が自宅で安全な水を飲めず、3 割が手洗いもできず

基本的な水・トイレ・衛生習慣を誰でもが利用できる世界の実現に向けた進捗が報告されています。

ジェンダー平等と女性のエンパワーメントの取組み強化

WHO はジェンダーの平等と多様な女性・少女のエンパワーメントのための変革を推進する公約を発表しました。

WHO と HRP：子宮頸がんの新しいガイドライン発表

人獣共通感染症の対応強化へ：FAO, OIE, WHO

人獣共通感染症について、また、病気の管理や予防のために各国をどのように支援するかについての議論を行いました。

WHO：COVID-19 の重症症例に IL-6 受容体拮抗薬を推奨

重症または重篤な患者において、特にコルチコステロイドとの併用で救命効果を発揮することを追加しました。

化学物質の公衆衛生上の影響に関する新しい推定

化学物質の公衆衛生上の影響に関する新たな推計値を発表しました。

結核および薬剤耐性結核の検出ガイドライン最新版

結核と薬剤耐性結核の検出に関する統合ガイドラインの最新版を発行しました。

7 月 6 日は世界人獣共通感染症デー

One Health アプローチの原則とベストプラクティスをオンラインで学ぶことができるようになりました。

男性同士の間で梅毒が高率に蔓延

男性同士間での梅毒の世界的な有病率が異常に高まっています。

世界の飢餓と栄養失調、コロナ禍で悪化（国連報告書）

2020 年の世界の飢餓は劇的に悪化し、その原因の多くは COVID-19 の影響です。

ヒトゲノム編集に新たな勧告

安全性、有効性、倫理性を重視し、最初の勧告として 2 つの報告書を発行しました。

夏のレクリエーションにおける水質に関するガイドライン

「水質ガイドライン」の更新版を発表しました。

農村部の健康格差に関するオンラインセミナー

農村部の健康格差に関するオンラインセミナーを 7 月からシリーズで開催します。

COVID-19 により、小児ワクチン接種が大きく後退

2020 年には 2,300 万人の子どもたち

注) 本サマリーは、WHO 発信情報のインデックスとして役立てて頂くよう 標題及び冒頭部分を仮訳しているものです。詳細内容については、QRコードを利用して、日本WHO協会のホームページ経由で、ニュースリリース、声明、メディア向けノートなどの原文にアクセスできます。



が基本的ワクチンを受けられず、前年よりも 370 万人多いことがわかりました。

マラリアに関する WHO ガイドライン

最新の推奨事項をまとめたもので、オンラインプラットフォーム上で閲覧できます。

成人用結核ワクチン開発への投資を

今こそ、結核ワクチン開発に投資すべき時だと呼びかけています

小児 HIV に対するドルテグラビル療法の優位性を確認

ドルテグラビルを基本とした化学療法が優れているとした知見を評価しました。

HIV 統合ガイドランの更新

「公衆衛生的アプローチのための提言」を発表しました。

WFP と WHO : 緊急医療施設プロジェクトを開始

結核治療薬の臨床試験デザインに関する WHO の見解

新しい治療法の開発のための臨床試験の特性を明確することにより、抗結核薬の開発を支援することを目的としています。

COVID-19 で保護者を失った

子どもたちは世界で 150 万人

パンデミック最初の 14 カ月間に、少なくとも 150 万人の子どもたちが親や保護者を失ったことが明らかになりました。

マラリア世界技術戦略 2016 -30

過去 15 年にわたる世界のマラリア対策から得た教訓を生かしたアプローチが採用されています。

子供たちの HIV 治療・予防に大きな遅れ (報告書)

2020 年に、世界の 170 万人の HIV 感染児のうち約半数が治療を受けておらず、新たに 15 万人が HIV に感染しました。

WHO と IPC : 健康とスポーツにおける協力に合意

スポーツを通じて、多様性と公平性を育むために協力することに合意しました。

世界経済の回復を妨げるワクチン格差

低所得国が高所得国と同じ COVID-19 ワクチン接種率を達成した場合、世界 GDP に 380 億ドルの上乗せを期待できます。

子供への暴力に終止符を : 6 つのアクション

毎年、10 億人の子どもたちが暴力や虐待を受けており、COVID-19 のパンデミックの間、さらに上昇しました。

国連総会決議 : 眼科医療は UHC に必須

眼科医療を UHC の不可欠な要素とし、国連総会で新たな決議を採択しました。

第 1 回「世界溺水防止デー」 : 溺水は若者の死因トップ 10

溺死は 1 歳から 24 歳までの子どもと若者の死因の上位 10 位に入っています。

喫煙との闘いの進展報告

「電子タバコ」などの電子ニコチン伝達システムに関する新しいデータが初めて掲載されています。

世界のプライマリヘルスケア : 必要な場所に必要な医療を

UHC に向けた進捗を加速させるには、PHC への投資を拡大することが重要です。

世界肝炎デー

世界で 3 億 5400 万人以上が慢性肝炎、毎日 8000 人以上が新たに B・C 型肝炎に感染し、毎年 100 万人以上が進行した肝臓病や肝臓がんで死亡しています。

ユニセフ、WHO : 子供たちために食料システムの変革に投資を

子どもたちは、栄養不良、微量栄養素の不足の蔓延、過体重や肥満の増加といった栄養不良の三重苦に陥っています。

7 月の WHO ファクトシート改訂項目

以下のファクトシートが改訂されています。詳しくは当協会のファクトシートのサイトをご覧ください。

<https://japan-who.or.jp/factsheets/>

・セルフケア、 ・予防接種率、 ・HIV/エイズ、 ・たばこ、 ・A型肝炎